

軍用犬「エディ」 約5年の任務を終え引退 *MWD Edy retires after nearly five years of service*

June 13, 2025

By Senior Airman Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

6月5日、横田基地において、第374憲兵中隊主催による軍用犬「エディ」の引退式が執り行われた。

長年にわたり忠実な任務を果たした軍用犬「エディ」は、このほど第374憲兵中隊のパトロール爆発物探知犬としての務めを正式に引退した。

第374憲兵中隊司令グレン・バウアーソックス中佐は、「軍用犬は誰からも愛されている。軍用犬には長い歴史があり、これからも変わらず任務に就き続けるでしょう」と語った。

軍用犬「エディ」は、2020年1月6日にパトロール爆発物探知犬としての訓練を開始し、同年6月16日に訓練課程を修了した。横田基地には、2020年8月31日に配属された。

「エディ」が横田基地で任務する間、4人の異なるハンドラーに配属され、大統領、副大統領、外国要人および国家元首を護衛する米国シークレットサービスの任務を17回行った。また、爆発物探知やパトロール任務の要請に応じて出動し、活躍を見せた。

バウアーソックス中佐は、「テクノロジーがどれほど進歩しても、軍用犬が果たす役割はそれに代えられない」と述べた。

